

『自動車整備士 1 級小型筆記 問題と解説 平成 27 年版』お詫びと訂正のお知らせ

弊社出版物「自動車整備士 1 級小型筆記 問題と解説 平成 27 年版」をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。本書の内容に誤りがございました。この度はご迷惑をおかけ致しまして誠に申し訳ございません。訂正してお詫び致します。

頁数等	内 容	
第 3 章 シャシ 解答 363 ページ 左段下から 1 行目	誤	330P【1】2 【2】3
	正	330P【1】 3 【2】3
第 4 章 故障診断 6. 振動・騒音 3 不具合現象とその原因 [2] ポイント解説 471 ページ 【1】1.	誤	<p>【1】1. ドライブ・シャフトのジョイント角による振動は、1 回転あたり 3 回発生する（トリポード型ジョイント）。100km/h 走行時の 1 秒あたりタイヤ回転数を求める。100km/h = 100,000m/3600s \doteq 27.78m/s。タイヤ 1 回転あたりの走行距離は、$2\pi r = 2 \times 3.14 \times 0.65\text{m} = 4.082\text{m}$。</p> $〔1 \text{ 秒あたり回転数}〕 = \frac{27.78\text{m}}{4.082\text{m}} \doteq 6.805 \text{ 回転}$ <p>ジョイント角による 1 秒あたりの振動数は、$6.805 \times 3 = 20.415$</p>
	正	<p>【1】1. ドライブ・シャフトのジョイント角による振動は、1 回転あたり 3 回発生する（トリポード型ジョイント）。100km/h 走行時の 1 秒あたりタイヤ回転数を求める。100km/h = 100,000m/3600s \doteq 27.78m/s。タイヤ 1 回転あたりの走行距離は、$2\pi r = \mathbf{3.14 \times 0.65\text{m} = 2.041\text{m}}$。</p> $〔1 \text{ 秒あたり回転数}〕 = \frac{27.78\text{m}}{\mathbf{2.041\text{m}}} \doteq \mathbf{13.61 \text{ 回転}}$ <p>ジョイント角による 1 秒あたりの振動数は、$\mathbf{13.61 \times 3 = 40.83}$</p>